

MIDI機能でステップアップ

クラビノーバをはじめ、最近のほとんどの電子楽器にはMIDI端子があり、MIDIを利用できるようになっています。ここでは、基本的なMIDIの知識や扱い方、CVP-87/85/83での具体的なMIDIの利用方法について解説しています。

95

MIDIとは.....	96
MIDIシステムのセットアップ.....	97
MIDI機能の設定.....	98
一般的なMIDIデータの再生.....	101
MIDIデータ・フォーマット.....	102
MIDIインプリメンテーション・チャート.....	109

MIDIとは

MIDI (ミディ)とは「Musical Instrument Digital Interface」の略で、世界の主な楽器メーカー間での話し合いにより決められた世界統一の規格です。MIDIはデジタル信号なので、1本のMIDIケーブル上で演奏情報をはじめいろいろな情報を同時に扱うことができます。

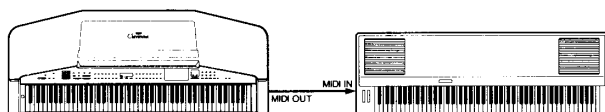
このMIDIを使うことによって、あるMIDI楽器から別のMIDI楽器を自由自在にコントロールすることができます。

MIDIを使ってできること

他のMIDIキーボードとつなぐ

図のようにクラビノーバのMIDI OUTと他のMIDIキーボードのMIDI INをつないでクラビノーバを演奏すると、MIDIキーボードの方でも同じようにMIDIキーボードでセットされた音色で鳴ります。

また、逆に他のMIDIキーボードのMIDI OUTとクラビノーバのMIDI INをつなぐことによって、他のMIDIキーボードからクラビノーバをコントロールすることもできます。



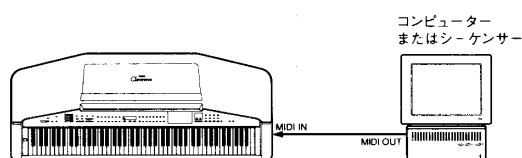
■注意...

他のMIDI機器と接続して演奏する場合は、98ページの方法でMIDIチャンネルを合わせる必要があります。

コンピューターやシーケンサーの音源として使う

コンピューターやシーケンサーの自動演奏の音源としてクラビノーバを使うことができます。

99ページのマルチ・ティンバー・モードを使うことによって、内蔵されているたくさんの音色を同時に演奏することができます。

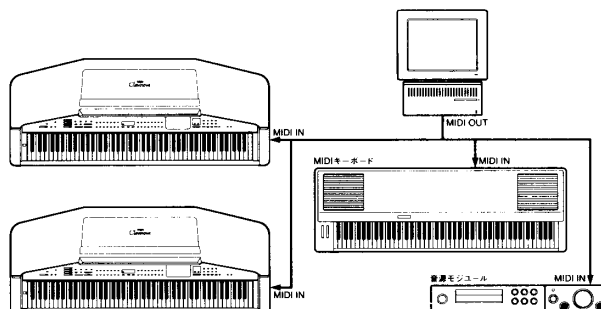


■注意...

コンピューターを使う場合は、シーケンス・ソフトとMIDIインターフェースが必要です。

大規模なMIDIシステム

コンピューターやシーケンサー、他のMIDIキーボード、音源モジュールと組み合わせることによって、大規模なMIDIシステムを構築することもできます。



MIDIシステムのセットアップ

MIDIを利用するには、専用のMIDIケーブルを使って正しくMIDI端子を接続する必要があります。

MIDI端子

通常、MIDI端子は図のように3種類あります。

●MIDI IN

MIDI信号を受ける端子です。

●MIDI OUT

MIDI信号を出力する端子です。

●MIDI THRU

MIDI INに入ってきたMIDI信号をそのまま出力します。MIDI機器をたくさん接続するときに便利ですが、あまりたくさんのMIDI機器のTHRU端子を通過させるとMIDI信号が遅れてしまうので注意が必要です。

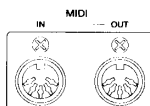
MIDI機器の種類によっては、その機能によってMIDI端子が3つより少なかったり、同じ端子が複数ついている場合があります。

また、図ではCVP-87/85/83のMIDI端子を示していますが、他のMIDI機器では並びの順番が違うものもあるので注意が必要です。

CVP-87/85



CVP-83



CVP-83にはTHRU端子はありません。

MIDIケーブル

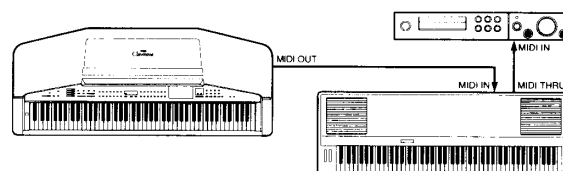
電子楽器を扱っている楽器店で購入することができます。30cmから15mくらいまで、用途に応じていろいろな長さのものがああります。

MIDIの接続

MIDI端子の5本のピンの向きを確かめて、まっすぐ差し込みます。

MIDI信号を出力しようとする機器のMIDI OUTとMIDI信号を受けようとする機器のMIDI INをつなぎます。

さらに増やす場合は、MIDI THRUを使います。



■注意…

MIDI機器は、それぞれ機種ごとに扱えるMIDIデータの内容が異なる場合があります。接続しているMIDI機器間で共通の機能だけコントロールすることができます。

■注意…

この共通の機能を調べるには、MIDIインプリメンテーション・チャート(109ページ)を使います。

MIDI機能の設定

MIDIを利用するときには、目的に応じて設定しておかなければならない項目がいくつかあります。

MIDIチャンネルを合わせる (MIDI送信/受信チャンネルの設定)

MIDIデータは一部を除いて、1～16のチャンネルを持っています。

MIDIデータを扱う場合、送信側と受信側でこのMIDIチャンネルを合わせておく必要があります。

送信されたMIDIデータが、受信側で設定されているチャンネルと一致するものだけを受け付けて、異なるチャンネルは無視するようになっています。

また、特別にOMNI ON (オムニ・オン) というモードがあります。これはMIDIチャンネルに関係なく、受信したMIDIデータをすべて受け付けるモードです。

MIDI送信チャンネルの設定

- 1 [MIDI/TRANPOSE] を押しながら [PIANO] を押します。
- 2 [MIDI/TRANPOSE] を押したまま TEMPO[▲][▼] で送信チャンネルを設定します。
ディスプレイに表示される数字が送信チャンネルです。

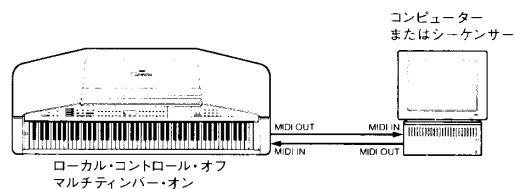
MIDI受信チャンネルの設定

- 1 [MIDI/TRANPOSE] を押しながら [CLAVINOVA TONE] を押します。
- 2 [MIDI/TRANPOSE] を押したまま TEMPO[▲][▼] で受信チャンネルを設定します。ディスプレイに表示される数字が受信チャンネルで、OMNI ON は「ALL」と表示されます。
電源を入れた時点では、送信チャンネル=1、受信チャンネル=OMNI ON に設定されています。

CVP-87/85/83の鍵盤と音源の機能を切り離して使う (ローカル・コントロール・オフ)

クラビノーバをはじめシンセサイザーなどでも、鍵盤を弾いて内蔵されている音源で音を出すのが普通です。ところが、ローカル・コントロールをOFFにすることによって「鍵盤」と「音源」の機能を切り離して別のものとして利用することができます。

具体的には、図のようにシーケンサー (またはコンピューター) とクラビノーバを接続して、マルチ・ティンバー (99ページ参照) をONにします。このようにすると、クラビノーバの鍵盤部分でシーケンサーをコントロールしてデータを入力し、音源部分ではシーケンサーから送られてくるデータを再生することができます。



[MIDI/TRANPOSE] を押しながら [E.PIANO] を押すごとに、ON/OFF が切り換わります。

ランプがついた状態がローカル・コントロール OFF です。電源を入れた時点では、ローカル・コントロールはONに設定されています。

MIDIによる音色ナンバーの変更 (プログラム・チェンジ)

MIDIを使って送信側の機器から受信側の機器の音色ナンバーを切り換えることができます。これをプログラム・チェンジといいます。

いろいろなMIDIシステムを組んでいくと、このプログラム・チェンジのデータの送受信ができたほうが便利な場合と、できないほうが便利な場合とがあります。

[MIDI/TRANPOSE] を押しながら [HARPSI] を押すごとに、ON/OFF が切り換わります。

ランプがついた状態がプログラム・チェンジ OFF です。

電源を入れた時点では、プログラム・チェンジはONに設定されています。

コントロール・チェンジについて

MIDIでは、ダンパー・ペダルやボリュームなどいろいろなデータの送受信も行えます。これらはコントロール・チェンジとしてまとめて扱われます。

CVP-87/85/83がコントロール・チェンジとして扱える情報は、102ページに詳しくまとめてあります。

[MIDI/TRANPOSE] を押しながら [VIBES] を押すごとに、ON/OFF が切り換わります。

ランプがついた状態がコントロール・チェンジ OFF です。

電源を入れた時点では、コントロール・チェンジはONに設定されています。

CVP-87/85/83をシーケンサーのマルチ音源として使う (マルチ・ティンバー・モード)

CVP-87/85/83に内蔵されている音色を、シーケンサーやコンピュータのマルチ音源として使うことができます。

シーケンサーからパートごとにプログラム・チェンジで音色を指定して演奏させることによって、パフォーマンス・メモリーとは違った方法でオーケストレーションを楽しむことができます。

この場合、リズム・パートは15トラックになります。

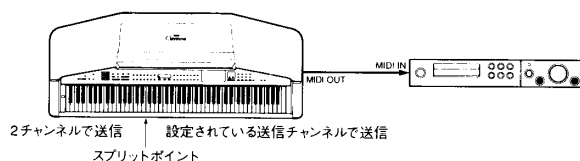
[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[GUITAR]を押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

ランプがついた状態がマルチ・ティンバー・モードONです。

電源を入れた時点では、マルチ・ティンバー・モードはOFFに設定されています。

外部音源の2つのパートを演奏する (スプリット送信モード)

設定されているスプリット・ポイント (24ページ) を境にして別々のMIDIチャンネルの演奏データを送信することによって、外部音源の2つのパートを同時に演奏することができます。スプリット・ポイントの高音側は設定されている送信チャンネルで、低音側はチャンネル2で送信されます。



[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[STRINGS]を押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

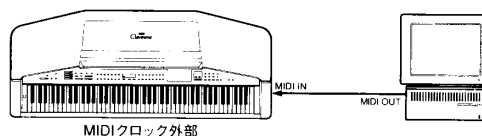
ランプがついた状態がスプリット送信モードONです。

電源を入れた時点では、スプリット送信モードはOFFに設定されています。

シーケンサーとの同期 (MIDIクロックの選択)

CVP-87/85/83でのパフォーマンス・メモリー、ディスク・オーケストラ、ABCなどは、内部のクロックによって指定されたテンポで演奏されます。

このMIDIクロックを外部に設定することによって、CVP-87/85/83のテンポを外部のシーケンサーからコントロールすることができます。



[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[ORGAN]を押すごとに、内部/外部が切り換わります。

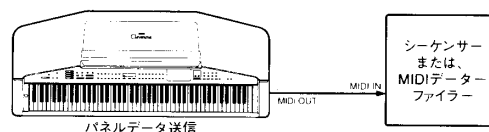
ランプがついた状態がMIDIクロック外部です。

電源を入れた時点では、MIDIクロックは内部に設定されています。

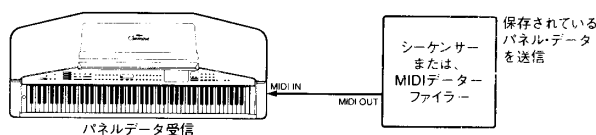
パネルの設定を外部機器に保存する (パネル・データの送信)

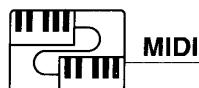
CVP-87/85/83のパネルで設定されている状態をMIDIデータとしてシーケンサーやMIDIデータ・ファイラーなどに保存したり、もう一台のCVP-87/85/83に送ったりすることができます。送信されるパネル・データの内容は105ページにまとめてあります。

[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[CHOIR]を押すと、MIDI OUTからパネルデータが送信されます。



パネル・データを受信する場合は、データが保存されている機器のMIDI OUTとCVP-87/85/83のMIDI INを接続します。保存されている側から送信が行われると自動的にCVP-87/85/83が受信します。



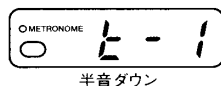
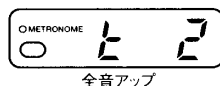


トランスポーズ(移調)して外部音源を演奏する

CVP-87/85/83で外部の音源を演奏する場合に、送信するMIDIデータをトランスポーズすることによって外部音源の演奏だけ移調させることができます。

- 1 [MIDI/TRANPOSE]を押しながら[UPRIGHT BASS]を押します。
- 2 [MIDI/TRANPOSE]を押したままTEMPO[▲][▼]で半音ずつトランスポーズします。[▲][▼]を同時に押すとトランスポーズは0になります。
[MIDI/TRANPOSE]を押しているあいだ、[UPRIGHT BASS]のランプがついてトランスポーズの値が表示されます。

トランスポーズできる範囲は±6半音ずつです。



電源を入れた時点では、トランスポーズの値は0(標準の音程)に設定されています。

クラビノーバ共通音色を使う(クラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モード)

クラビノーバのいくつかのモデルで共通に持っている音色ナンバー配列のマルチ音源として利用することができます。
CVP-87/85/83で演奏している音色ナンバーをクラビノーバ共通音色に変換して送信し、受信時はクラビノーバ共通音色として受信します。

この場合、リズム・パートは15トラックになります。
[MIDI/TRANPOSE]を押しながら[ELEC BASS]を押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

ランプがついた状態がクラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モードONです。

電源を入れた時点では、クラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モードはOFFに設定されています。

一般的なMIDIデータの再生

CVP-87/85/83では、機種に依存しない一般的な演奏データであるSMF (Standard MIDI File)や、ヤマハの共通フォーマットであるESEQのデータも再生することができます。

SMFとGMについて

CVP-87/85/83でも対応しているSMF (Standard MIDI File) と GM (General MIDI) について、少し覚えておきましょう。

SMF (Standard MIDI File) とは…

MIDIによる演奏データは、つい最近まで、それを再生するソフトやハードのメーカーや機種が違えばまったく利用することができませんでした。

ところで、カセット・テープはどうでしょう。どのメーカーのどんな機種を使っても同じように録音再生することができます。

このため、お気に入りの曲を録音して友達と交換したり、自分で演奏した曲をたくさんの人に聞いてもらったりすることが可能です。

そこで、MIDIでもソフトやハードの種類に関係なく演奏データを利用できるように、との願いから提案されたのが Standard MIDI File (スタンダード・ミディ・ファイル) です。

ただし、これはすべてのMIDIによる演奏データを統一してしまおうというようなものではありません。いろいろなソフトやハードの特徴を生かして作られたデータをSMFというフォーマットで保存しておけば自由に受け渡しができますよ、という規格です。

GM (General MIDI) とは…

SMFによって演奏データの利用の幅が広がっても、MIDIデータを扱う場合は音色の選択やMIDIチャンネルなど、あらかじめこれらを理解したうえで設定しておかなければならないことがたくさんありました。これでは電源を入れて再生ボタンを押せばいつでも再生できるようなカセット・テープのようなわけにはいきません。

そこで、誰にでも簡単にMIDIを利用できるようにと定められたのが General MIDI System Level 1 (ジェネラル・ミディ・システム・レベル1) 規格です。

これは、音色やMIDIデータの必要な部分に限って共通化することにより、誰にでも簡単に、まさにカセット・テープを扱うような感覚でMIDIを扱えるようにしようというものです。

SMFのデータを再生する

最近では数多くのSMFの演奏データがフロッピー・ディスクで市販されています。また、パソコン通信などでもSMFの演奏データを入手することができます。

これらのデータもパフォーマンス・メモリーなどのディスクと同様にCVP-87/85/83で再生することができます。

■注意…

SMFはフォーマット0のデータのみ再生することができます。

■注意…

SMFのデータが記録されているフロッピー・ディスクはMS-DOSの720Kでフォーマットされているものをお使いください。

ESEQのデータを再生する

ヤマハのシーケンサーやオールインワン・シンセなどで採用されているシーケンス・データの共通フォーマットであるESEQのデータもCVP-87/85/83で再生することができます。

■注意…

CVP-87/85/83の通常の音色ナンバーで再生されます。したがって、正しい音色で再生するには、あらかじめCVP-87/85/83に対応したプログラム・チェンジ・データが入力されている必要があります。

MIDIデータ・フォーマット

1. ノート・オン/オフ

[9nH][kk][vv]

9nH = ノート・オン/オフ・イベント
(n=MIDIチャンネル・ナンバー)

kkH = ノート・ナンバー
(送信: 0FH~72H=D#-1~F#7)
(受信: 15H-6CH=A-1~C7)

vvH = ベロシティ
(ノート・オン=01H-7FH、ノート・オフ=00H)

[8nH][kk][vv]

8nH = ノート・オフ (n=MIDIチャンネル・ナンバー)

kkH = ノート・ナンバー (15H-6CH=A-1~C7)

vvH = ベロシティ (ノート・オフ=00H-7FH)

※ノート・オフの8nHは受信のみ、送信は9nH (vvH=00H) で行う。

※ディスクの再生データやリズム、ABCの再生データはMIDI送信されません。

2. コントロール・チェンジ

[BnH][ccH][vvH]

BnH = コントロール・イベント
(n=MIDIチャンネル・ナンバー)

ccH = コントロール・ナンバー

vvH = コントロール・バリュー

○モジュレーション (ビブラート)

[BnH][01H][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = モジュレーション

○ボリューム

[BnH][07H][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = ボリューム(00H-7FH)

00H : -∞

6FH : -3dB

7FH : ±0dB

○パン

[BnH][0AH][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = パン(00H-7FH)

00H-17H : Left 6

18H-1FH : Left 5

20H-27H : Left 4

28H-2FH : Left 3

30H-37H : Left 2

38H-3FH : Left 1

40H-47H : Center

48H : Voice default Pan

49H : Scaling Pan(Standard)(受信のみ)

4AH : Scaling Pan(Wide)(受信のみ)

4BH : Scaling Pan(Narrow L)(受信のみ)

4CH : Scaling Pan(Narrow C)(受信のみ)

4DH : Scaling Pan(Narrow R)(受信のみ)

4EH : Scaling Pan(Half L)(受信のみ)

4FH : Scaling Pan(Half R)(受信のみ)

50H-57H : Right 1

58H-5FH : Right 2

60H-67H : Right 3

68H-6FH : Right 4

70H-77H : Right 5

78H-7FH : Right 6

○エクスプレッション

[BnH][0BH][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = エクスプレッション(00H-7FH)

00H : -∞

6FH : -3dB

7FH : ±0dB

○ダンパー・ペダル

[BnH][40H][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = コントロール・バリュー(00H-7FH)

最大8段階 (CVP-87)

00H-3FH : off (CVP-83/85)

40H-7FH : on (CVP-83/85)

○ソステヌート・ペダル

[BnH][42H][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = コントロール・バリュー(00H-7FH)

00H-3FH:off

40H-7FH:on

○ソフト・ペダル

[BnH][43H][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = コントロール・バリュー(00H-7FH)

00H-3FH:off

40H-7FH:on

○ポルタメント・コントロール

[BnH][54H][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = コントロール・バリュー

15H-6CH:キー・ナンバー

○リバーブ・デプス

[BnH][5BH][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = リバーブ・デプス(00H-7FH)

チャンネル毎有効

3.モード・メッセージ (受信のみ)

[BnH][ccH][vvH]

BnH = コントロール・イベント

(n=MIDIチャンネル・ナンバー)

ccH = モード・メッセージ・ナンバー

vvH = モード・メッセージ・バリュー

○オール・サウンド・オフ

[BnH][78H][00H]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

○リセット・オール・コントローラー

[BnH][79H][00H]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

○ローカル・コントロール・オン/オフ

[BnH][7AH][vvH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

vvH = 00H : オフ

7FH : オン

○オール・ノート・オフ

[BnH][7BH][00H]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

○オムニ・オフ/オール・ノート・オフ

[BnH][7CH][00H]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

○オムニ・オン/オール・ノート・オフ

[BnH][7DH][00H]

n = MIDIチャンネル・ナンバー



4. レジスタード、ノンレジスタード・パラメーター・ナンバー

○データ・エントリー

[BnH][06H][mmH]

[BnH][26H][IIH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

mm/II = RPNで使用

○データ・インクリメント

[BnH][60H][xxH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

xx = ダミー、RPNで使用

○データ・デクリメント

[BnH][61H][xxH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

xx = ダミー、RPNで使用

○ノン・レジスタード・パラメーター・ナンバー

[BnH][62H][IIH]

[BnH][63H][mmH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

※受信するパラメーターはないが、RPN受信のため認識する。

○レジスタード・パラメーター・ナンバー

[BnH][64H][IIH]

[BnH][65H][mmH]

n = MIDIチャンネル・ナンバー

IIH = 00H, mmH = 00H : ピッチベンド・センシティビティ

IIH = 01H, mmH = 00H : ファイン・チューン

IIH = 02H, mmH = 00H : コース・チューン

IIH = 7FH, mmH = 7FH : RPNリセット

5. プログラム・チェンジ

[CnH][ppH]

CnH = プログラム・チェンジ・イベント

(n=MIDIチャンネル・ナンバー)

ppH = プログラム・ナンバー

pp	音色名
0	PIANO
1	CLAVINOVA TONE
2	E.PIANO
3	HARPSICHORD
4	VIBES
5	GUITAR
6	STRINGS
7	ORGAN
8	CHOIR
9	UPRIGHT BASS
A	E.BASS(w/t slap)
B	DRUMS
C	BRASS
D	POP BRASS
E	TRUMPET
F	MUTE TRUMPET
10	HORN
11	SAX
12	SAX SOFT
13	CLARINET
14	OBOE
15	FLUTE
16	ACCORDION
17	HARMONICA
18	STRINGS SOFT
19	VIOLIN
1A	VIOLIN HARD
1B	FULL ORGAN
1C	JAZZ ORGAN 1
1D	SYNTH BRASS

pp	音色名
1E	SYNTH WOOD
1F	SYNTH STRINGS
20	SYNTH CHOIR
21	PIANO BRIGHT
22	PIANO SOFT
23	E.PIANO(DX)
24	SYNTH CRYSTAL
25	CELESTA
26	MARIMBA
27	FOLK GUITAR
28	JAZZ GUITAR 1
29	JAZZ GUITAR 2
2A	ROCK GUITAR 1
2B	ROCK GUITAR 2
2C	MUTE GUITAR
2D	BANJO
2E	PIZZICATO
2F	HARP
30	U.BASS SOFT
31	E.BASS SOFT VEL.
32	E.BASS HEAVY
33	SYNTH BASS
34	TIMPANI & ORCH.HIT
35	BASSOON
36	CHAMBER STRINGS
37	JAZZ ORGAN2
38	ROCK GUITAR3
39	COSMIC1
3A	COSMIC2
3B	COSMIC3

6. ピッチ・ベンド

[EnH][lH][mmH]

EnH = ベンド・イベント (n=MIDIチャンネル・ナンバー)

lH = 下位バイト

mmH = 上位バイト

※ベンド・レンジは電源オン時は、ベンド幅短3度に設定されている。

RPNを使用して半音毎に設定することは可能。

7. システム・リアルタイム・メッセージ

[rrH]

F8H : タイミング・クロック

FAH : スタート

FCH : ストップ

FEH : アクティブ・センシング

送信	受信
F8H: 96分毎に送信する。	MIDIクロックがエクスターナルにセットされている時、テンポの96分のタイミングとして受信する。
FAH: リズム・スタート	リズム・スタート
FCH: リズム・ストップ	リズム・ストップ
FEH: 200msec毎に受信する。	400msec以上にデータが送信されてこない場合MIDIキーをオフする。
FFH: 送信しない。	無視する。

※オーバーラン・フレーミング・エラーが起こったときは、全チャンネルのダンパー、ソステヌート、ソフトペダルをオフにし、オール・ノート・オフにする。

8. システム・エクスクルーシブ・メッセージ

○ヤマハMIDIフォーマット

[F0H][43H][xnH][ffH].....[F7H]

43H = ヤマハID

xnH = サブステータス+MIDIチャンネル・ナンバー

ffH = フォーマット・ナンバー

※nはオムニ・オン/オフにかかわらず受信チャンネルに指定されたチャンネルが有効。

x	ffH	機能
0	7CH	パネル・データ受信
2	7CH	パネル・データ・バルク・ダンプ・リクエスト
2	7DH	モデルIDデータ・バルク・ダンプ・リクエスト

パネル・データ送信フォーマット

F0H,43H,0nH,7CH,00H,22H (n=チャンネルNo.)

53H,4BH,20H,20H (SK)

43H,56H,50H,27H,39H,33H (CVP '93)

3xH,3yH (x,y=バージョンNo.)

[パネル・データ]

[チェック・サム(1バイト)]=0-(53H+4BH+20H+.....+データ・エンド)
F7H

パネル・データ詳細

- (1) ABC ON/OFF
- (2) SSP ON/OFF
- (3) SSP No.
- (4) マニュアル音色
- (5) マニュアル・ポリューム
- (6) リズム・ナンバー
- (7) リズム・バリエーション
- (8) テンポ(絶対値 上位バイト)
- (9) テンポ(絶対値 下位バイト)
- (10) リズム・ポリューム
- (11) コード1ポリューム
- (12) コード2ポリューム
- (13) ベース・ポリューム
- (14) スプリット・ポイント
- (15) デュアル/スプリット・モード
- (16) デュアル/スプリット音色
- (17) デュアル/スプリット・バランス
- (18) リバーブ
- (19) リバーブ・デプス
- (20) ペダル・ファンクション
- (21) ボイス・バンク(上位4ビット)
- (22) イントロ

各鍵毎の調律 データ・バルク・ダンプ・フォーマット

F0H,43H,73H

34H (機種ID CVP-87/85/83)

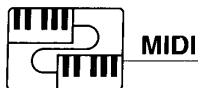
06H (バルクID)

00H (バルクNo.0)

00H,00H,06H,00H

[バルク・データ] (ロー[A-1],ハイ[A-1].....ロー[C7],ハイ[C7])

[チェック・サム(1バイト)]=0-サム(バルク・データ)



○クラビノーバMIDIフォーマット

[F0H][43H][73H][yyH][xxH][F7H]

43H = ヤマハID

73H = クラビノーバID

yyH = モデルID (CVP-83/85/87=34H)

xxH = サブ・ステータス

xxH	機能
02H	MIDIクロック内部
03H	MIDIクロック外部
13H	マルチ・ティンバー・モード・オフ
14H	クラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モード・オン
15H	マルチ・ティンバー・モード・オン
18H	クラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モード時の トラック別リバーブ・デプス・オン
7nH	オール・ノート・オフ、受信チャンネル=n+1、オムニ・オフ

※1) nn=2,3,13,14,15,18,7Cの機種IDは、機種(34H)の代わりに、クラビノーバ共通(01H)がきても受ける。

2) [13H][14H][15H]を受け付けると、全てのコントロール・チェンジをリセットする。また[14H][15H]を受けた時は、いつも同じ初期設定になるように音色等もリセットする。

○特殊コントロール

[F0H][43H][73H][yyH][11H][0nH][ccH][vvH][F7H]

43H = ヤマハID

73H = クラビノーバID

yyH = モデルID (CVP-83/85/87=34H)

11H = クラビノーバ特殊コントロール

0nH = コントロールMIDIチェンジ
(n=特殊コントロール・チャンネル・ナンバー)

ccH = コントロール・ナンバー

vvH = コントロール・バリュー

cc	コントロール	バリュー[dd]
08	デュアル/スプリット・バランス	08H : ロワー MAX 7FH : アッパー MAX
10	ABCモード	00 : オフ 01 : ABC SFC 02 : ABC FC 03 : 従来型ABC フル・キーボード 04 : ABC フル・キーボード
11	リズム・バリエーション	00 : オフ 01 : バリエーションNo.
12	フィル・インsw イベント	00 : FILL to N オフ・イベント 01 : FILL to N オン・イベント 02 : FILL to V オフ・イベント 03 : FILL to V オン・イベント

cc	コントロール	バリュー[dd]
13	イントロ/エンディング swイベント	00 : イントロ・オフ・モード 01 : イントロ・オン・モード 02 : エンディング・モード 03 : FILL to Nイントロ・ オン・モード 04 : FILL to Vイントロ・ オン・モード
14	スプリット	[ddH] = キーNo.(LK域最高音)
15	リズムNo.	[ddH] = リズムNo.
19	ボリューム	[ddH] = ボリュームNo. n=2(ベース) 4(コード1) 5(コード2)
1A	リズム・ボリューム	[ddH] = ボリュームNo.
1B	メトロノーム・モード (受信のみ)	00-3FH : オフ 40-7FH : オン
21	ソロ・スタイルプレイNo.	00-17H : ソロ・スタイルプレイNo.
22	ソロ・スタイルプレイ	00-3FH : オフ 40-7FH : オン
30	ドラムス・パラメータ・ チェンジ	ドラムス・パラメータ拡張 フォーマットに記述
59	リバーブ	00 : オフ 01 : ルーム 02 : ホール1 03 : ホール2 04 : コズミック
5A	デュアル/スプリット・ モード	00 : デュアル/スプリット・オフ 01 : デュアル・オン 02 : スプリット・オン (アッパー・ダンパー) 03 : スプリット・オン (ロワー・ダンパー) 04 : スプリット・オン (U,Lダンパー) 05 : スプリット・オンとロワー・ ボイス・オクターブ・アップ (アッパー・ダンパー) 06 : スプリット・オンとロワー・ ボイス・オクターブ・アップ (ロワー・ダンパー) 07 : スプリット・オンとロワー・ ボイス・オクターブ・アップ (U,Lダンパー)
5C	デュアル/スプリット・ ボイス	[ddH]: デュアル/スプリット・ボイス
5D	ペダル・ファンクション	[ddH]: ファンクションNo.

59(リバーブ)の機種IDは機種(xxH)の代わりに、クラビノーバ共通ID(01H)がきてのみ受け付ける。

ドラムス・パラメータ拡張フォーマット

[F0H][43H][73H][xxH][11H][0nH][30H][xxH].....[F7H]

xxH : 機種ID、共通機種IDも受信する。

(パターン・エディターは共通で送信する。)

0x30 : /*ドラムス・パラメータ*/2フォーマット

※これよりセットされたパラメータは全体のドラムセットの切り替えでリセットされる。

特殊操作子の30のところを拡張する。

エフェクトレベル

[F0H][43H][73H][xxH][11H][0nH][30H][43H][knH][enH][s1H][F7H]

11H : クラビノーバ特殊操作子

0nH : MIDIチャンネルNo.

※CVP-87/85/83では15ch(0eH)のみ受け全トラック共通とする。

GMモード時は10ch(09)のみ受け全トラック共通とする。

30H : ドラムス・パラメータ・チェンジ

43H : エフェクト・センド・レベル

knH : キーNo.

※クラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モード時もパネルキーコードで記述する。

GMモード時はGMキーコードで記述する。

※kn=01の時はすべてのキーのenをデフォルトにする。

kn=02の時はすべてのキーのenをslの値にする。

enH : エフェクトNo.

en=5B : リバーブ・デプス

slH : センド・レベル

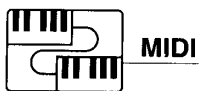
使用例

[F0H][43H][73H][xxH][11H][0nH][30H][43H][knH][enH][s1H][F7H]
[knH][enH][s1H]

[41H][5bH][20H] : バス・ドラムのリバーブ・デプスを20Hにする。

[01H][5bH][xxH] : 全てのキーのリバーブ・デプスをデフォルトする。

[02H][5bH][20H] : 全てのキーのリバーブ・デプスを20Hにする。



パンセット切り替え

[F0H][43H][73H][xxH][11H][0nH][30H][47H][knH][pnH][F7H]

11H : クラビノーバ特殊操作子

0nH : MIDIチャンネルNo.

※CVP-87/85/83では15ch(0eH)のみ受付け全トラック共通とする。

GMモード時は10ch(09)のみ受付け全トラック共通とする。

30H : ドラムス・パラメーター・チェンジ

47H : パン・ポット

knH : キーNo.

※共通音色時もパネル・キー・コードで記述する。

GMモード時はGMキー・コードで記述する。

※kn=01の時はパンのセットをpnで記述されたものにする。

kn=02の時はすべてのキーのパンをpnで記述されたピン・ポイントにする。

pnH:パン

※kn=01の時はパンのセットをpnで記述されたものにする。

pn = 00:ノーマルDOCセッティング

01:ナローDOC左寄り

02:ナローDOC中央

03:ナローDOC右寄り

04:ナローDOCセッティング

05:ナローDOC左寄り

06:ナローDOC中央

07:ナローDOC右寄り

※kn以外は通常のパン値になる。ただし、48-4fの値もセンターとしてピン・ポイントにする。

○アブソリュート・テンポ

[F0H][43H][73H][yyH][11H][1nH][ccH][ddH][F7H]

43H = ヤマハID

73H = クラビノーバID

yyH = モデルID (CVP-83/85/87=34H)

11H = クラビノーバ特殊コントロール

1nH = コントロールMIDIチェンジ

(送信時:n=コントロール・チャンネル・ナンバー)

(受信時はどのチャンネルでもよい)

ccH = アブソリュート・テンポ/L

ddH = アブソリュート・テンポ/H

テンポ=ddH*128+ccH

○ビート、テンポランプ・オン/オフ

[F0H][43H][73H][yyH][11H][4FH][ccH][ddH][F7H]

43H = ヤマハID

73H = クラビノーバID

yyH = モデルID (CVP-83/85/87=34H、または共通=01H)

11H = クラビノーバ特殊コントロール

4FH = コントロールMIDIチェンジ

ccH = 00H : ビート・ランプ・オン/オフ

01H : テンポ・ランプ・オン/オフ

ddH = 00H : オン

7FH : オフ

CVP-87/85/83 MIDIインプリメンテーション・チャート

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源ON時 設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル	1チャンネル 1~16チャンネル	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *****	モード1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×	
ノート・ナンバー	電源ON時 設定可能	15~114 *****	21~108 21~108	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH, v=1~127 × 9nH, v=0	○ v=1~127 ×	
アフター・タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ・ベンダー		○	○	
コントロール・チェンジ	01 06, 38 07 10 11 64 66 67 84 91 96, 97 98, 99, 100, 101 120 121	○ × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	モジュレーション データ・エントリー ボリューム パン・ポット エクスプレッション ダンパー・ペダル ソステヌート・ペダル ソフト・ペダル ポルタメント リバーブ・デプス データ inc/dec NRPN, PRN 1sb/msb オール・サウンド・オフ*1 リセット・オール・ コントローラー*1
プログラム・チェンジ	設定可能範囲	○ 0~59 *****	○ 0~127 0~127	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル・タイム	クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他	ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブ・センシング チューン	× × ○ ×	○ ○ (123~125)*1 ○ ×	
備考	*1=120, 121, 123のみオムニ・オフ時またはマルチ・ティンバー・モード・オン時に受信可能			

モード1:オムニ・オン、ポリ モード2:オムニ・オン、ポリ
 モード3:オムニ・オフ、ポリ モード4:オムニ・オフ、ポリ

○:あり
 ×:なし



資料

111

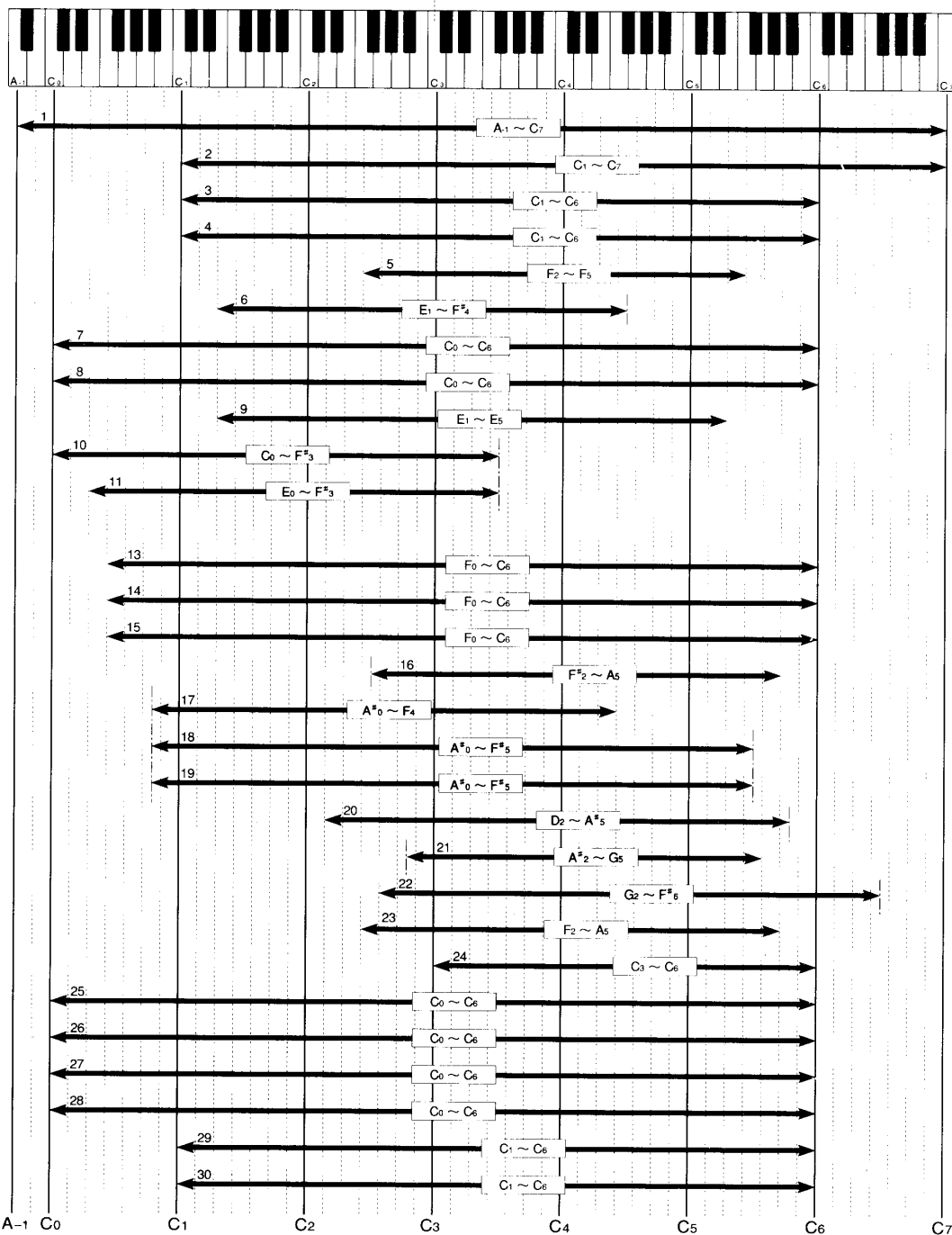
各音色の推奨音域.....	112
最大同時発音数.....	114
エラー・メッセージ.....	115
故障かな？と思ったら.....	116
クイック・オペレーション・ガイド.....	117
音色／伴奏スタイル一覧表.....	124
CVP-87/85/83の組み立て方.....	125
仕様.....	130
オプション(別売品)のご紹介.....	131
索引.....	132
サービスと保証.....	134



各音色の推奨音域

CVP-87/85/83で演奏するときに、各音色にはそれぞれ音楽的に推奨される音域があります。これ以外の音域では、その楽器のイメージと違う音になることもあります。

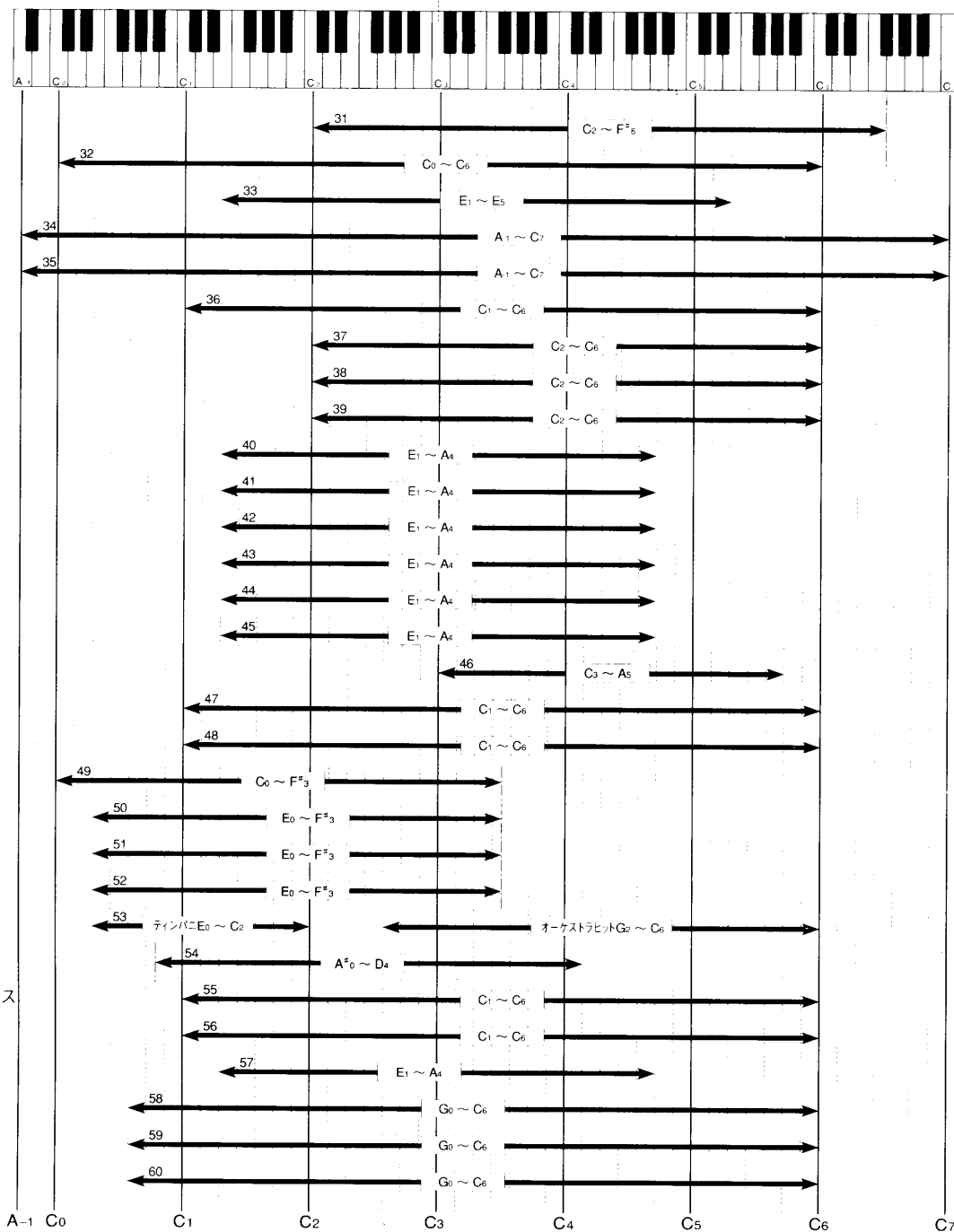
中央のド





中央のド

31. シンセ・ウッド
32. シンセ・ストリングス
33. シンセ・クワイア
34. ピアノ・ブライト
35. ピアノ・ソフト
36. エレクトリック・ピアノDX
37. シンセ・クリスタル
38. チェレスタ
39. マリンバ
40. フォーク・ギター
41. ジャズ・ギター 1
42. ジャズ・ギター 2
43. ロック・ギター 1
44. ロック・ギター 2
45. ミュート・ギター
46. バンジョー
47. ピチカート
48. ハープ
49. アップライト・ベースソフト
50. エレクトリック・ベースソフト
51. エレクトリック・ベースヘビー
52. シンセ・ベース
53. ティンパニ/オーケストラ・ヒット
54. バスーン
55. チェンバー・ストリングス
56. ジャズ・オルガン 2
57. ロック・ギター 3
58. コズミック 1
59. コズミック 2
60. コズミック 3



音色によっては、同系統別楽器の音色になっているものがあります。

* 音色番号15 トランペットの低域はトランペット、トロンボーン、チューバとつながっています。

* 音色番号26 バイオリンの低域は、チェロ、コントラバスとつながっています。

* 音色番号47 ピチカートは、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスとつながっています。



最大同時発音数

CVP-87の全ての音色、及びCVP-85/83の下記
(※)以外の音色の最大同時発音数は32音です。
リズムやABCを使って演奏する場合は、次のとおりになります。

	手弾き	リズム	ABC
手弾きだけの演奏	32	-	-
手弾き＋リズム	24	8	-
手弾き＋リズム＋ABC	12	8	12

※CVP85: 音色ナンバー56 [JAZZ ORGAN 2]

音色ナンバー58 [COSMIC 1]

音色ナンバー60 [COSMIC 3]

CVP83: 音色ナンバー31 [SYNTH WOOD]

音色ナンバー56 [JAZZ ORGAN 2]

音色ナンバー58 [COSMIC 1]

音色ナンバー60 [COSMIC 3]

114

上記(※)の音色の最大同時発音数は16音です。リズムや
ABCを使って演奏する場合は、次の表のとおりになります。

	手弾き	リズム	ABC
手弾きだけの演奏	16	-	-
手弾き＋リズム	12	8	-
手弾き＋リズム＋ABC	6	8	12

●デュアルのときは、発音数が少なくなります。

●パフォーマンス・メモリーやディスク・オーケストラを使って演奏
する場合は、それぞれの表での手弾きの発音数が「再生音＋手弾き音」
の発音数になります。

エラー・メッセージ

エラー・メッセージ	原因	処置
<div>SONG NUMBER</div> <div>For</div> <div>○ ○</div> <div>(Format)</div>	フォーマットしていないディスクを差し込んだ。	フォーマットしてください (→61ページ)。
<div>SONG NUMBER</div> <div>Pro</div> <div>○ ○</div> <div>(Protected)</div>	ディスクのライト・プロテクト・タブが、記録不可の位置になっている。	ディスクのライト・プロテクト・タブを記録可の位置にしてください。
	プロテクトされているディスクに、フォーマットまたは録音しようとした。	「ディスク・オーケストラ・コレクション」、 「ディスク・スタイル」「ピアノプレーヤ・ソフト」のディスクは、フォーマットできないように、またデータが書き込めないようにプロテクトされています。
	マイ・レパートリー (「ディスク・オーケストラ・コレクション」のオーケストラ・パート／リズム・パートをコピーしたディスク) をさらに別のディスクにコピーしようとした。	「ディスク・オーケストラ・コレクション」のオーケストラ・パート／リズム・パートをコピーしたディスクの曲は、そのディスク内でのコピーはできますが、別のディスクへのコピーはできません。
	「ディスク・スタイル」やそれをコピーしたディスクに、「パフォーマンス・メモリー」や「ディスク・オーケストラ・コレクション」を書き込み、またはコピーしようとした。あるいは、その逆の操作をした。	同じ種類のデータのみ、書き込み、またはコピーできます。
<div>SONG NUMBER</div> <div>dEr</div> <div>○ ○</div> <div>(Disk Error)</div>	ディスクがこわれている。	ディスクを交換してください。
	ディスク読み込み／書き込み中に大きな振動があった。	振動を与えないように注意して、もう一度操作を行ってください。



故障かな?と思ったら

現象	原因	解決法
CVP-87/85/83の電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていない。 電源スイッチが切れている。	家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください。 電源スイッチを押して電源を入れてください。
電源スイッチをONまたはOFFにした時、「カチ」と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
鍵盤で弾く音が、リズムやディスクの再生音に比べて小さい。	手弾き音のボリュームが下がっている。	手弾き音のボリュームを上げてください。 (→P43)
リズムやディスクの再生音が鍵盤で弾く音比べて小さい。	アカンパニメント・ボリュームが下がっている。	アカンパニメント・ボリュームを上げて、ください。(→P43)
全体的に音が小さい。まったく音がでない。	マスター・ボリュームが下がっている。 ヘッドフォンを接続している。 ローカル・コントロールOFFになっている。	マスター・ボリュームを上げてください。 ヘッドフォンのプラグを抜いてください。 [MIDI/TRANPOSE]を押しながらボイスの[E.PIANO]を押して、[E.PIANO]のランプを消してください。
リズムやディスクの再生がスタートしない。	MIDIクロックが外部になっている。	[MIDI/TRANPOSE]を押しながらボイスの[ORGAN]を押して、[ORGAN]のランプを消してください。
低音側の音が出ない。	コード・ボリュームまたはベース・ボリュームが下がっている。	コード・ボリュームまたはベース・ボリュームを上げてください。
高音側の音が出ない。	手弾き音のボリュームが下がっている。	手弾き音のボリュームを上げてください。 (→P43)
押えた鍵盤の数だけ音が出ない。	最大同時発音数を越えている。(→P114)	前の音を消して、後の音を優先的に鳴らすしくみになっています。
自動伴奏されない。	ABC機能の状態になっていない。 フィンガードの状態で、シングル・フィンガーの押え方をしている。	[SINGLE FINGER]、[FINGERED]、または[FULL KEYBOARD]を押して、ABCの状態にしてください。 活用ガイド70ページのコード一覧表を参照してください。
音階が途中からおかしくなる。	低音部の鍵盤を弾いている。	シングル・フィンガーやフィンガードの状態では高音部でメロディを演奏します。
思ったとおりの和音が出ない。	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。 正確に押えていない。	鍵盤から一度指を離してから、次の鍵盤を押すようにしてください。 活用ガイド70ページのコード一覧表を参照してください。
レフトペダルでソロ・スタイルプレイのON/OFFができない。	ソロ・スタイルプレイ機能をONにしていない。	[SOLO STYLEPLAY]をONにした時のみ、ペダルのファンクションを選択し、機能させることができます。
レフトペダルを踏むと、リズムがスタート/ストップしてしまう。	レフトペダルが、スタート/ストップ機能になっている。	[LEFT PEDAL FUNCTION]を押して、ソフト・ペダルの機能に戻してください。
60ソングまで録音できない。	1曲の演奏時間が長かったり、たくさんの機能を使ったため、記憶残容量がいっぱいになった。	不要な曲を削除する(→P76)か、または新しいディスクに録音してください。
パフォーマンス・メモリーやディスク・オーケストラ・コレクションの再生時、再生されないトラックがある。	そのトラックが再生OFFになっている。	OFFになっているトラックを再生ONにしてください。(→P92)

※最初に電源を入れたとき、STYLEボタンのどれかが点滅する場合は、内部に異状がありますので、お買い上げ店か、お近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点(→P134)までご連絡ください。



クイック・オペレーション・ガイド

デモ演奏


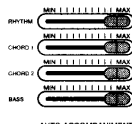

デモ演奏モード 12ページ	全曲リピート再生 13ページ
デモ曲選択スタート 12ページ	デモ曲再生ストップ 13ページ
デモ演奏モード解除 13ページ	

演奏

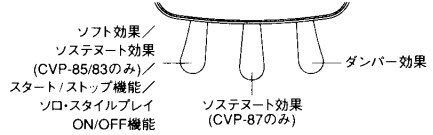
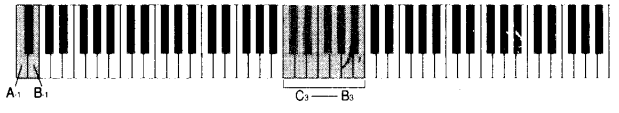

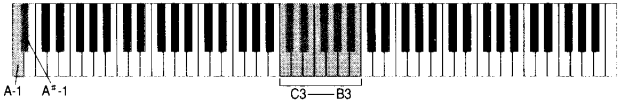

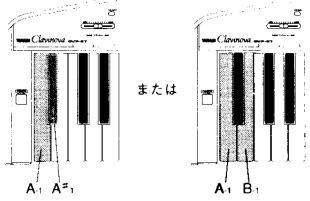

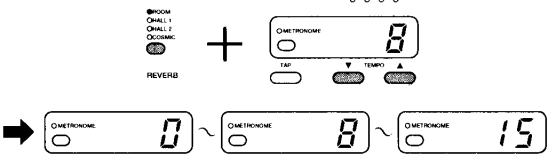

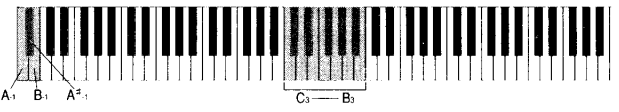
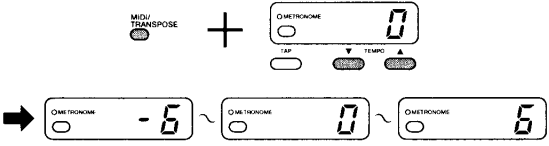
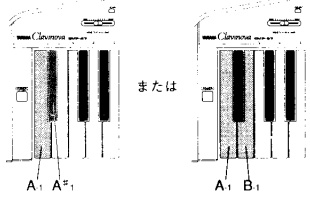

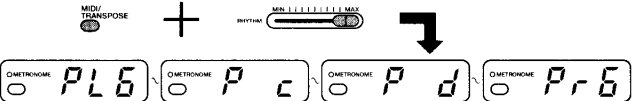
音色選択A(基本12音色) 16ページ	スプリット・ポイントの設定 24ページ
音色選択B(13-60音色) 16ページ	音量バランス 25ページ
デュアル 22ページ	ダンパー・ペダルのきく範囲の設定 26ページ
音量バランス 23ページ	
スプリット 24ページ	
高音部の選択 25ページ	
低音部の選択 25ページ	



音量調節

マスター・ボリューム(全体の音量)	17ページ	アカンパニメント・ボリューム(各パートの音量)	43ページ
			
手弾きの音量	43ページ		
			

演奏効果／機能

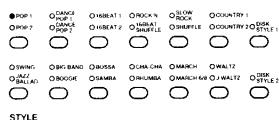
ペダル	20ページ	ピッチ・コントロール	28ページ
		1.2セントきざみで音程を上げる	28ページ
			
レフトペダルの機能設定	21ページ	1.2セントきざみで音程を下げる	28ページ
			
リバーブの種類の選択	19ページ	1ヘルツ(Hz)きざみの調節	29ページ
			
深さの設定	19ページ		
			
		標準音程(A ₃ =440Hz)に戻す	29ページ
トランスポーズ	27ページ		
			
パン機能	30ページ		
			



伴奏スタイル

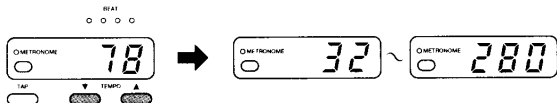
スタイル選択

32ページ



テンポ

32ページ



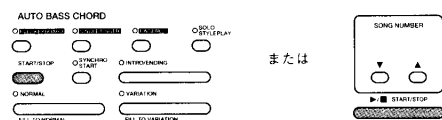
タップ・テンポ機能

33ページ



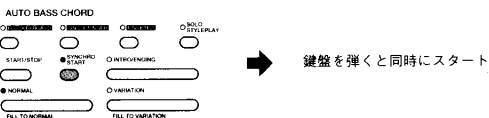
スタート/ストップ

33ページ



シンクロ・スタート

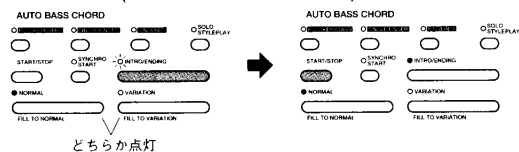
35ページ



イントロ/エンディング

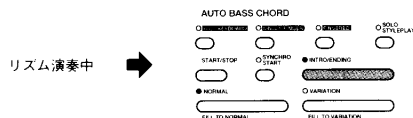
イントロ・スタート(ノーマル、バリエーション)

34ページ



エンディング・ストップ

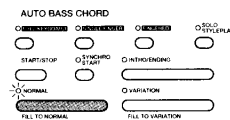
36ページ



フィル・イン

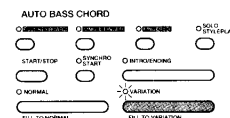
フィル・イン演奏後ノーマル・タイプのリズム演奏

36ページ



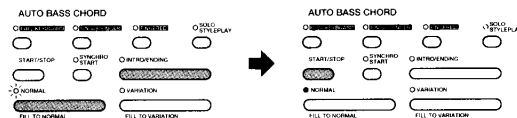
フィル・イン演奏後バリエーション・タイプのリズム演奏

36ページ



フィル・イン・スタート (ノーマル、バリエーション)

35ページ



[INTRO ENDING] + [FILL TO NORMAL]
または
[INTRO ENDING] + [FILL TO VARIATION]

メトロノーム

38ページ



※イントロ・スタート/フィル・イン・スタートとシンクロ・スタート
を組み合わせることもできます。

119

ABC (オート・ベース・コード)

シングル・フィンガー

41ページ



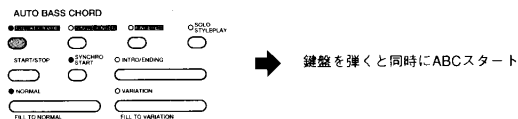
フィンガード

41ページ



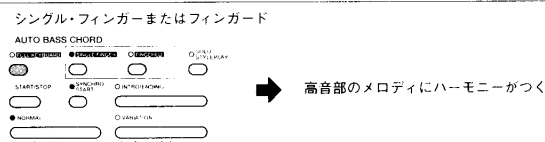
フル・キーボード

41ページ



ソロ・スタイルプレイ

46ページ





フロッピー・ディスク

ディスクをセットしたあとの手順です

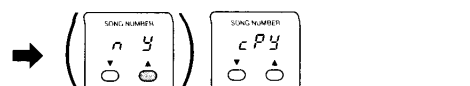
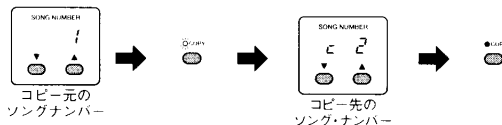
フロッピー・ディスクのフォーマット

61ページ



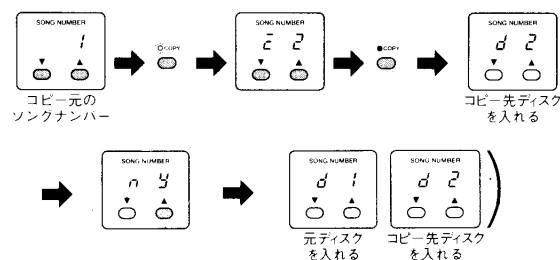
同じディスク内のソング・コピー

72ページ



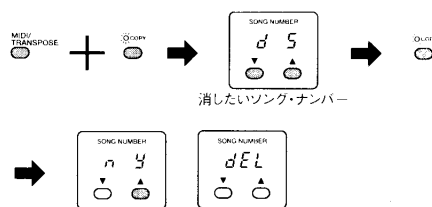
別のディスクへのソング・コピー

74ページ



ソングの消去

76ページ



※各トラックごとの消去についてはP72をご覧ください。

ディスク・スタイルの読み込み

44ページ



録音／再生（ディスク・オーケストラ、パフォーマンス・メモリー）

ディスクがセットされていることと、[SONG SELECT]のランプが点灯していることを確認してから行ってください

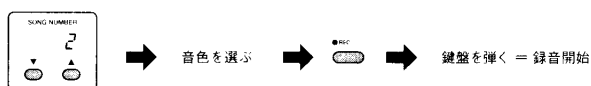
再生

50ページ



鍵盤演奏だけの録音（パフォーマンス・メモリー）

64ページ



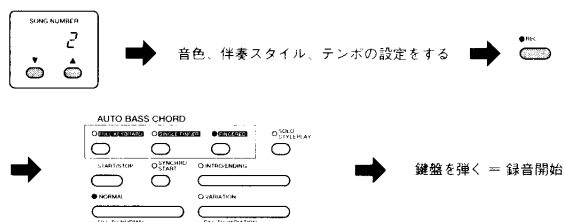
リズムといっしょに録音（パフォーマンス・メモリー）

70ページ



ABCで録音（パフォーマンス・メモリー）

66ページ



フレーズ・リピート（ディスク・オーケストラ）

55ページ



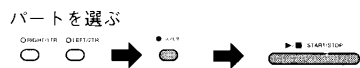
A-Bリピート

57ページ



ガイド機能

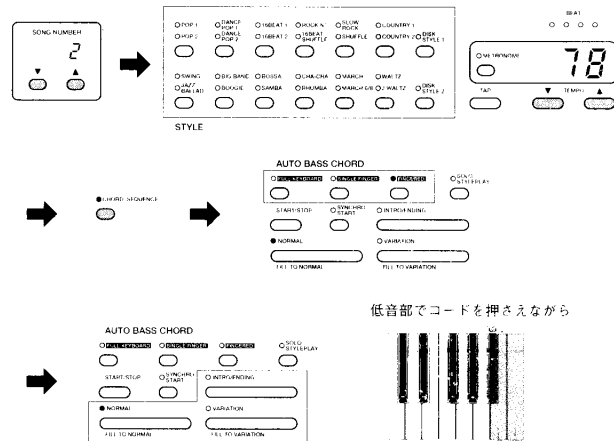
53ページ



※ガイド機能には2通りの方法があります。（→P54）

コード・シーケンス（パフォーマンス・メモリー）

68ページ



4分音符 全音符

※このほかにも録音に関するさまざまな機能があります。

- ・多重録音（→P70）
- ・トラックごとのボリューム調節（→P77）
- ・初期値の変更（→P77）
- ・パンチ・イン・レコーディング（→P78）
- ・マルチ・トラック録音（→P94）



応用機能A(ユーティリティA)

これらの操作は最後まで[MIDI/TRANPOSE]を押したままで行ってください

U-1: タッチ感度の選択

86ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ソフト ミディアム ハード

U-6: ランダム全曲リピート(曲順不同)再生

88ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ON OFF

U-2: アカパニメント・ボリュームのモード切り換え

86ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

機能1 機能2 機能3

U-7: スプリット以下のオクターブ・アップ ON/OFF

88ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ON OFF

U-3: 鍵盤ごとのチューニング

87ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

OFF アップ ダウン

→ → -44 ~ 0 ~ 44

U-8: ミュート機能 ON/OFF

88ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ON OFF

U-4: 標準テンポの自動切り換えのON/OFF

87ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ON OFF

U-9: 簡易調性判断機能 ON/OFF

88ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ON OFF

U-5: シンクロ・スタート自動設定のON/OFF

87ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

ON OFF

U-10: ダンパー・ペダル連続/スイッチ (CVP-87のみ)

88ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

スイッチ 連続

U-11: SMF(スタンダードMIDIファイル)モード切り換え

88ページ

MIDI/TRANPOSE +

STYLE

→

GM音色SMF再生 一般SMF再生

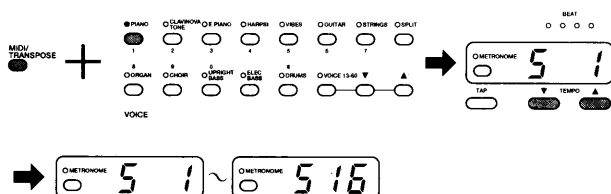


MIDI機能

これらの操作は[MIDI/TRANPOSE]を押したままで行ってください

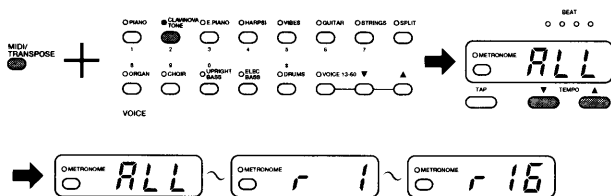
MIDI送信チャンネルの設定

98ページ



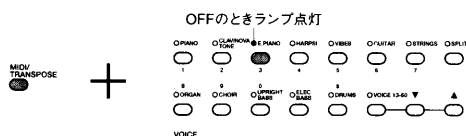
MIDI受信チャンネルの設定

98ページ



ローカル・コントロール

98ページ



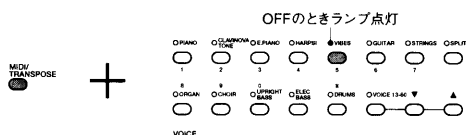
プログラム・チェンジ

98ページ



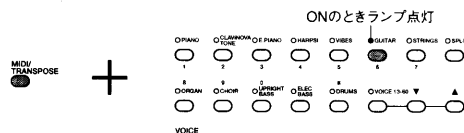
コントロール・チェンジ

98ページ



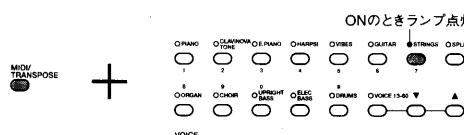
マルチ・ティンバー・モード

99ページ



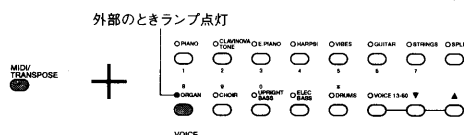
スプリット送信モード

99ページ



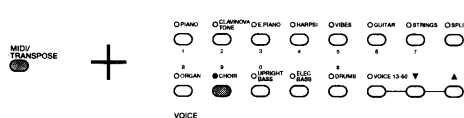
MIDIクロックの選択

99ページ



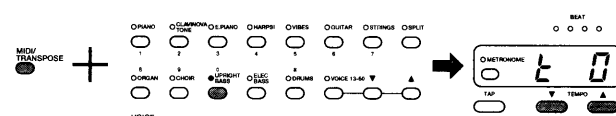
パネル・データの送信

99ページ



トランスポートして外部音源を演奏する

100ページ



クラブノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モード

100ページ





音色／伴奏スタイル一覧表

パネル表示音色

1	PIANO (ピアノ)
2	CLAVINOVA TONE (クラビノーバ・トーン)
3	E.PIANO (エレクトリック・ピアノ)
4	HARPSICHORD (ハープシコード)
5	VIBES (バイブ)
6	GUJAR (ギター)
7	STRINGS (ストリングス)
8	ORGAN (オルガン)
9	CHOIR (クワイア)
10	UPRIGHT BASS (アップライト・ベース)
11	ELEC BASS (エレクトリック・ベース)
12	DRUMS (ドラムス)

13～60音色

13	BRASS (ブラス)
14	POP BRASS (ポップ・ブラス)
15	TRUMPET (トランペット)
16	MUTE TRUMPET (ミュート・トランペット)
17	HORN (ホルン)
18	SAXOPHONE (サクソ)
19	SAXOPHONE SOFT (サクソ・ソフト)
20	CLARINET (クラリネット)
21	OBOE (オーボエ)
22	FLUTE (フルート)
23	ACCORDION (アコーディオン)
24	HARMONICA (ハーモニカ)
25	STRINGS SOFT (ストリングス・ソフト)
26	VIOLIN (バイオリン)
27	VIOLIN HARD (バイオリン・ハード)
28	FULL ORGAN (フル・オルガン)
29	JAZZ ORGAN 1 (ジャズ・オルガン1)
30	SYNTH BRASS (シンセ・ブラス)
31	SYNTH WOOD (シンセ・ウッド)
32	SYNTH STRINGS (シンセ・ストリングス)
33	SYNTH CHOIR (シンセ・クワイア)
34	PIANO BRIGHT (ピアノ・ブライト)
35	PIANO SOFT (ピアノ・ソフト)
36	E.PIANO DX (エレクトリック・ピアノDX)
37	SYNTH CRYSTAL (シンセ・クリスタル)
38	CELESTA (チェレスタ)
39	MARIMBA (マリンバ)
40	FOLK GUITAR (フォーク・ギター)
41	JAZZ GUITAR1 (ジャズ・ギター1)
42	JAZZ GUITAR2 (ジャズ・ギター2)
43	ROCK GUITAR1 (ロック・ギター1)
44	ROCK GUITAR2 (ロック・ギター2)
45	MUTE GUITAR (ミュート・ギター)
46	BANJO (バンジョー)
47	PIZZICATO (ピチカート)
48	HARP (ハーブ)
49	UPRIGHT BASS SOFT (アップライト・ベース・ソフト)
50	ELEC BASS SOFT (エレクトリック・ベース・ソフト)
51	ELEC BASS HEAVY (エレクトリック・ベース・ヘビー)
52	SYNTH BASS (シンセ・ベース)
53	TIMPANI/ORCH.HIT (ティンパニ/オーケストラ・ヒット)
54	BASSOON (バスーン)
55	CHAMBER STRINGS (チェンバー・ストリングス)
56	JAZZ ORGAN2 (ジャズ・オルガン2)
57	ROCK GUITAR3 (ロック・ギター3)
58	COSMIC1 (コズミック1)
59	COSMIC2 (コズミック2)
60	COSMIC3 (コズミック3)

パネル表示伴奏スタイル

POP 1 (ポップ1)	SWING (スイング)
POP 2 (ポップ2)	JAZZ BALLAD (ジャズバラード)
DANCE POP 1 (ダンスポップ1)	BIG BAND (ビッグバンド)
DANCE POP 2 (ダンスポップ2)	BOOGIE (ブギー)
16BEAT 1 (16ビート1)	BOSSA (ボサノバ)
16BEAT 2 (16ビート2)	SAMBA (サンバ)
ROCK'N' (ロックンロール)	CHA-CHA (チャチャ)
16BEATSHUFFLE (16ビートシャッフル)	RHUMBA (ルンバ)
SLOW ROCK (スローロック)	MARCH (マーチ)
SHUFFLE (シャッフル)	MARCH 6/8 (マーチ6/8)
COUNTRY 1 (カントリー1)	WALTZ (ワルツ)
COUNTRY 2 (カントリー2)	J.WALTZ (ジャズワルツ)

ディスク・スタイル

1 このごろのバンド	26 サルサ
2 シンプル・8ビート	27 タンゴ
3 ロックン・ロール	28 サンバ
4 ロックン・シャッフル	29 ラテン・ロック
5 エレキバンド	30 2ビート・スイング
6 ファイティング・ロック	31 スローなジャズ
7 ど演歌	32 ビバップ
8 8ビート歌謡	33 アバンギャルド・ジャズ
9 ポップス 演歌	34 ピアノブギー
10 想い出のポップス	35 チャールストン
11 軽快なポップス	36 ロッカ・バラード
12 渋いポップス	37 演歌バラード
13 シンプル・16ビート	38 ドドンバ
14 ソウルフル・16ビート	39 音頭
15 ダンシング・16ビート	40 ボルカ
16 テクノポップ	41 カントリー
17 ディスコ	42 3フィンガー・ギター
18 ダンスポップ	43 オルゴール
19 16ビートシャッフル・ソフト	44 ブロードウェイ
20 16ビート 演歌	45 ショータイム
21 16ビート・バラード	46 シンプルワルツ
22 18トラディショナル・ファンク	47 スイングワルツ
23 ジャパニーズ・ファンク	48 ボレロ
24 カリブソ	49 歌謡ワルツ
25 いけいけマンボ	50 ボサワルツ

■CVP-87では、下記の音色はステレオ・サンプリングです。

- 1 PIANO
- 8 ORGAN
- 28 FULL ORGAN
- 34 PIANO BRIGHT
- 35 PIANO SOFT

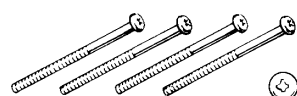
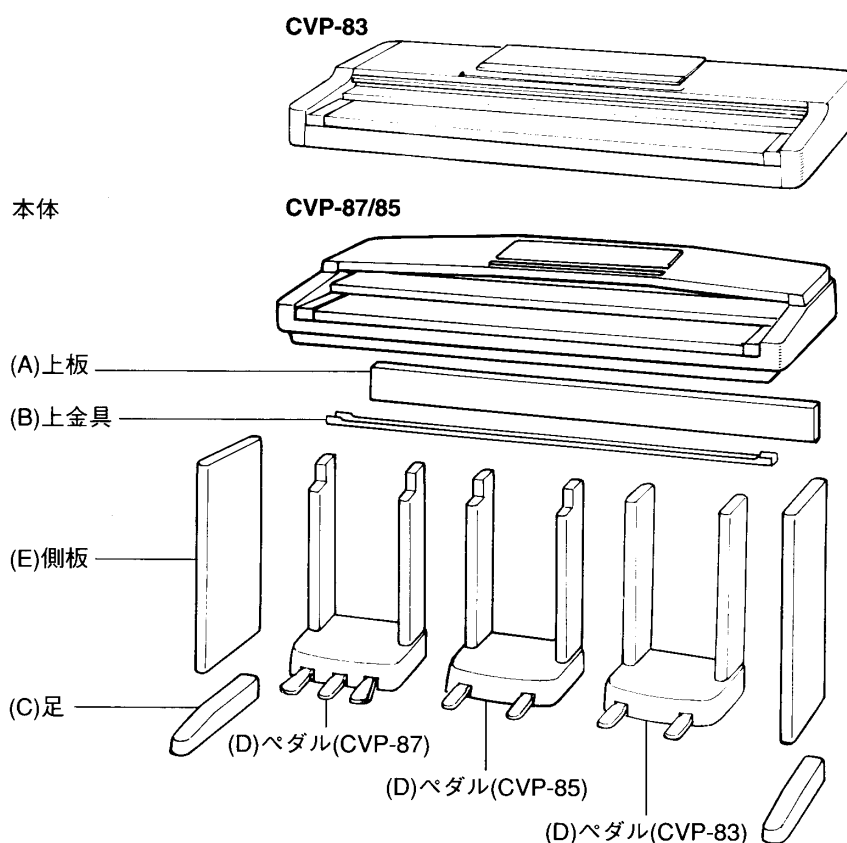


CVP-87/85/83の組み立て方

- プラス(+)のドライバーを用意してください。
- 部品や取り付けの向きを間違えないように注意しながら、手順どおりに組み立ててください。
解体するときは、組み立てと逆の手順で行なってください。
- 組み立ては2人以上で行なってください。1人で無理に組み立てようとすると、傷をつけたり、製品に悪い影響を与えることがあります。また、毛布などの柔らかい布の上で組み立てられることをおすすめします。

1

箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。



① 長いネジ(金色)×4



⑤ 小さいネジ(短)×2



② 中くらいのネジ×6



ジョイント・コネクター×4



③ 短いネジ×6



キャップ×4

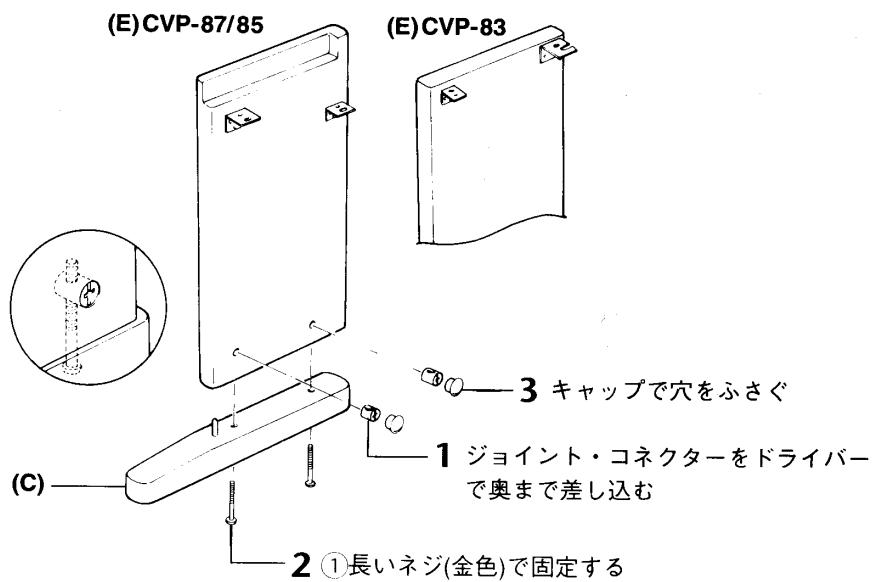


④ 小さいネジ(長)×4



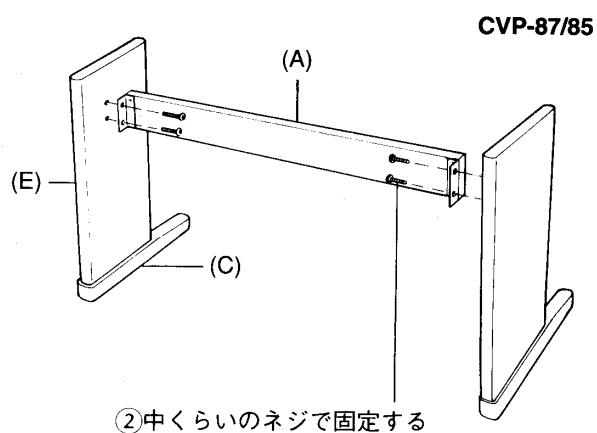
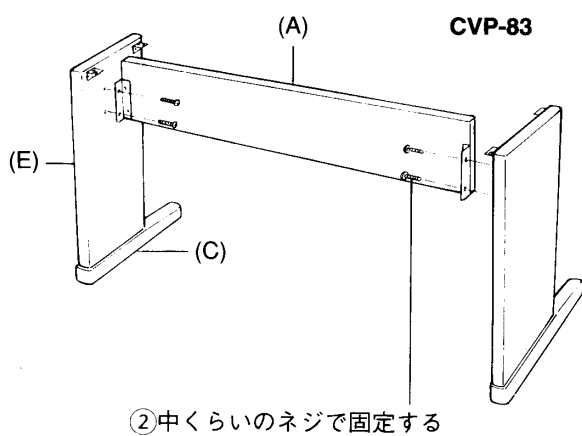
2 (C)足と(E)側板を固定します。(それぞれ右、左共作ります。)

* ジョイント・コネクターが図のような向きにセットされていないと、ネジが入っていきません。よく確かめてください。



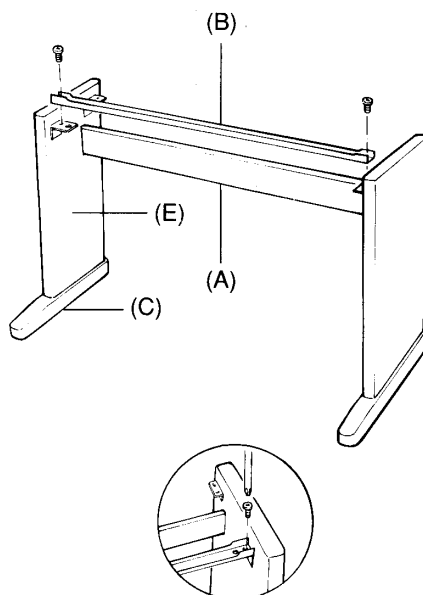
126

3 (A)上板を固定します。



4

(B)上金具を固定します。



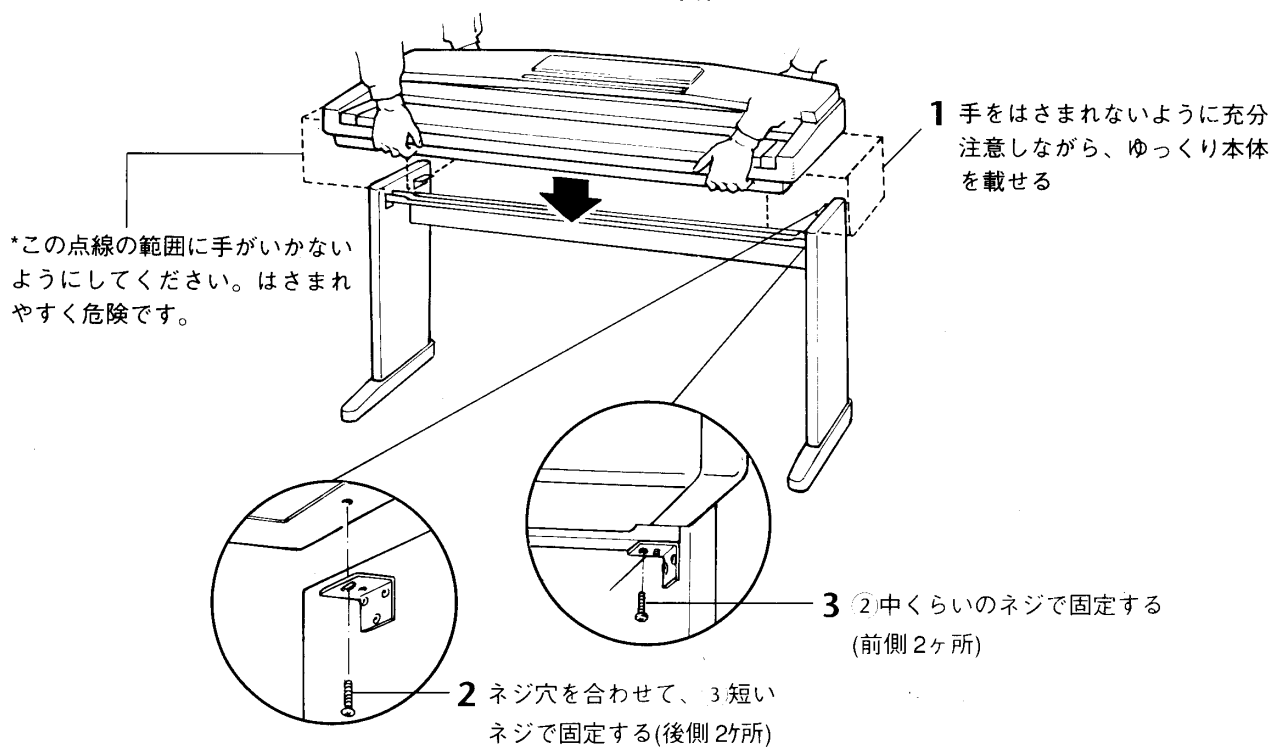
⑤ 小さいネジ(短)で固定する

127

5

本体を固定します。

CVP-87/85本体

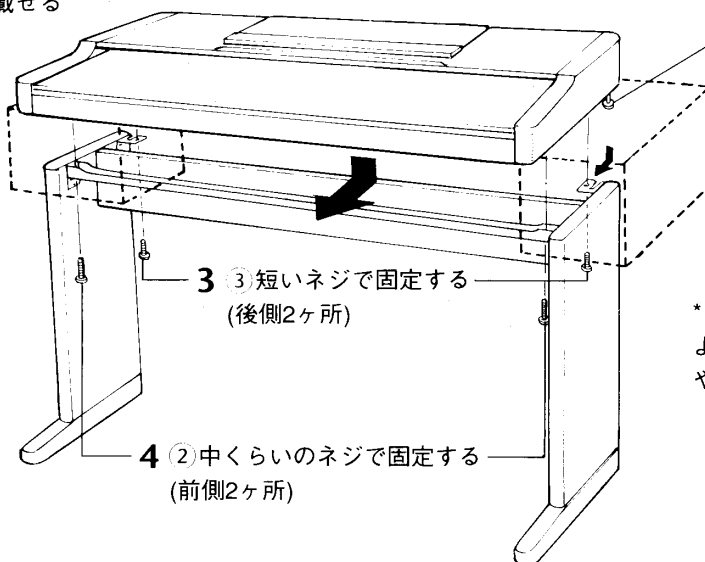
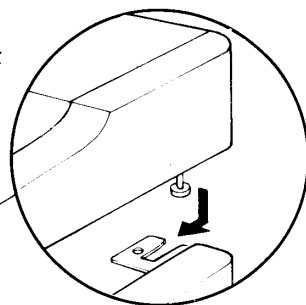




- 1 本体底部の突起が側板の止め金具の少し後側へくるようにゆっくり本体を載せる

CVP-83本体

- 2 本体をゆっくり前方へスライドさせ、突起と側板の止め金具をしっかりと噛み合わせる(止め金具の最後までしっかりスライドさせる)



- 3 ③ 短いネジで固定する
(後側2ヶ所)

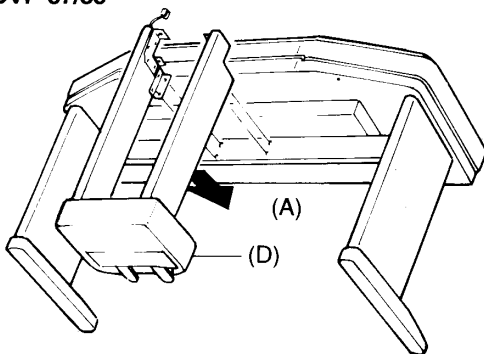
- 4 ② 中くらいのネジで固定する
(前側2ヶ所)

*この点線の範囲に手がいかないようにしてください。はさまれやすく危険です。

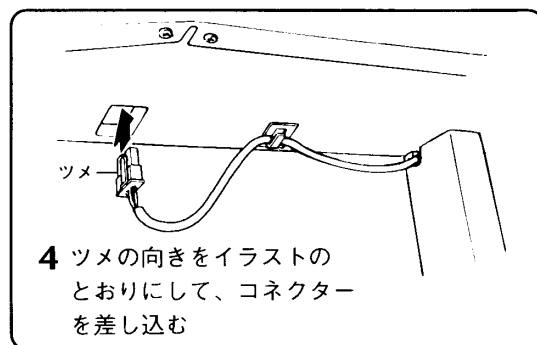
6

(D)ペダルを取り付けます。

CVP-87/85



- 5 コードのたわみがなくなるようにコード・ホルダーで止める

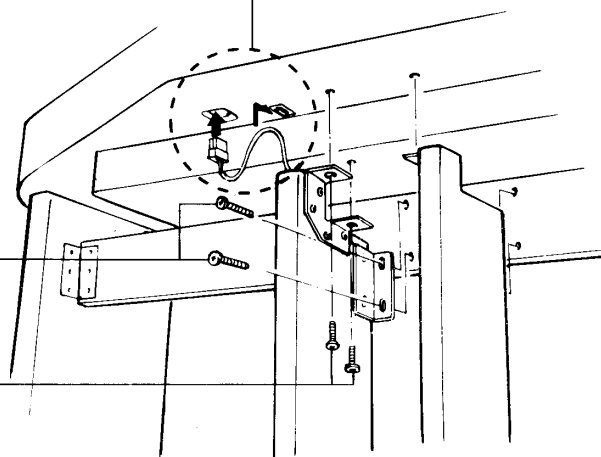


- 4 ツメの向きをイラストのとおりにして、コネクタを差し込む

- 1 (D)ペダルの最上部にある小さなくぼみからきちんとコードが出るように気をつけながら、ペダルを持ち上げてネジ穴を合わせる

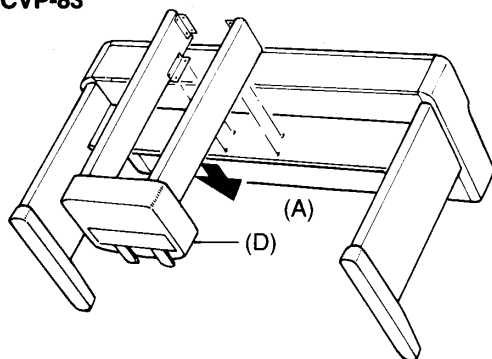
- 2 ④ 小さいネジ(長)で(A)上板と固定する(4ヶ所)

- 3 ③ 短いネジで本体と固定する(4ヶ所)





CVP-83

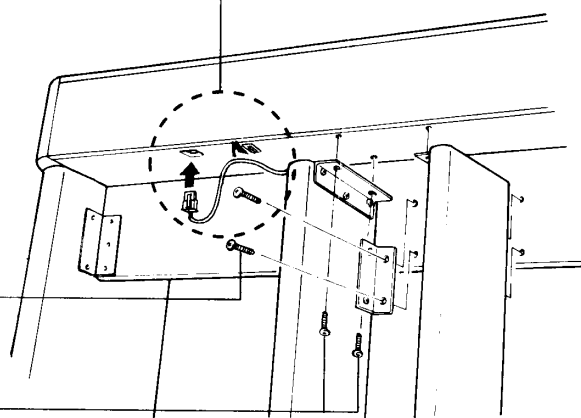
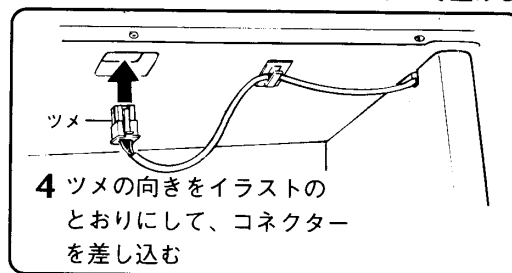


1 (D)ペダルの最上部にある小さくぼみからきちんとコードが出るように気をつけながら、ペダルを持ち上げてネジ穴を合わせる

2 ④小さいネジ(長)で(A)上板と固定する(4ヶ所)

3 ③短いネジで本体と固定する(4ヶ所)

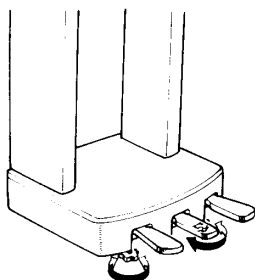
5 コードのたわみがなくなるようにコード・ホルダーで止める



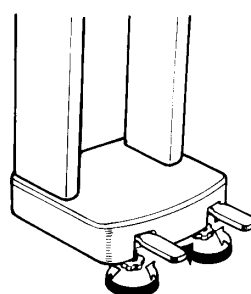
* すべてのネジがきちんと締まっているか確認しましょう。

7 2つのアジャスターを床面にぴったり付くまで回し、ペダルを安定させます。

CVP-87



CVP-85/83





仕様

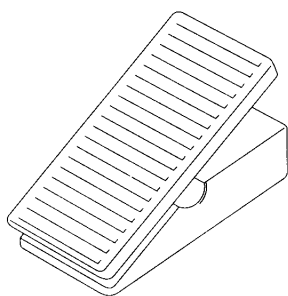
	CVP-87	CVP-85	CVP-83
鍵盤	88鍵(A-1〜C7)、イニシャル・タッチ付き		
音源	AWM音源		
最大同時発音数	32	32または16	
音色	[パネル音色]・・・(12種類)ピアノ、クラビノーバ・トーン、エレクトリック・ピアノ、ハーブシコード、ビブラフォン、ギター、ストリングス、オルガン、クワイア、アップライト・ベース、エレクトリック・ベース、ドラムス [その他の音色]・・・48種類(→P124)		
伴奏スタイル	[パネルのスタイル]・・・(24種類)ポップ1,2、ダンス・ポップ1,2、16ビート1,2、ロックン・ロール、16ビート・シャッフル、スロー・ロック、シャッフル、カントリー1,2、スイング、ジャズ・バラード、ビッグ・バンド、ブギー、ボサノバ、サンバ、チャチャ、ルンバ、マーチ、マーチ6/8、ワルツ、ジャズ・ワルツ [コントロール]・・・スタート/ストップ、シンクロ・スタート、イントロ/エンディング、ノーマル/フィル・トゥー・ノーマル、バリエーション/フィル・トゥー・バリエーション、メトロノーム、タップ・テンポ、ビート・ランプ、テンポ・ディスプレイ、ディスク・スタイル1,2		
ディスク・スタイル	50種類(→P124)		
キーボード・パーカッション	44AWM打楽器音色(→P18)		
リバーブ	ルーム、ホール1、ホール2、コズミック		
ABC(オート・ベース・コード)	フル・キーボード、シングル・フィンガー、フィンガード、ソロ・スタイルプレイ、リズム・ボリューム、コード1ボリューム、コード2ボリューム、ベース・ボリューム		
ディスク・オーケストラ・コレクション /パフォーマンス・メモリー	ソング・セレクト、フレーズ・リピート、ガイド、ランプ・キャンセル(CVP-87のみ)、ライト/1TR、レフト/2TR、オーケストラ/3-10TR、リズム、スタート/ストップ、巻戻し、早送り、ポーズ、録音、コード・シーケンス、ソング・ナンバー・ディスプレイ		
ディスク・ドライブ・コントロール	3.5インチ・マイクロ・フロッピーディスク・ドライブ、コピー、フォーマット		
ペダル・コントロール	ダンパー、ソステヌート、ソフト(スタート/ストップ、ソロ・スタイルプレイ)		
その他のコントロール	マスター・ボリューム、MIDI/トランスポート、スプリット、デモ、パワー・スイッチ		
付属端子	ヘッドフォン端子×2、AUX出力端子(L+R,R) [CVP-87/85のみ]、オプション入力端子(L,R) [CVP-87/85のみ]、MIDI端子(IN,OUT,THRU [THRUはCVP-87/85のみ])、エクスプレッション端子 [CVP-87のみ]		
メイン・アンプ	80W(40W×2)		40W(20W×2)
スピーカー	13cm×2、5cm×2		16cm×2、5cm×2
定格電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	60W		45W
仕上げ	ダーク・ローズウッド調仕上げ		ウォルナット調仕上げ
寸法 間口	141.6cm	141.6cm	141.4cm
奥行き	58.2cm	58.2cm	50.6cm
高さ*()内は譜面立てを立てた場合	83.5cm(100.7cm)	83.2cm(100.2cm)	83.5cm(101.3cm)
重量	65kg	63kg	56kg
装備	スライド式キーカバー、折りたたみ式譜面立て		
付属品	ディスク・オーケストラ・コレクション(ミュージック・ブック+ディスク)、ディスク・スタイル、録音用ブランク・ディスク、ボイス・リスト・ステッカー、「CVPガイド」ビデオ、活用ガイド、取扱説明書(本書)、保証書、ご愛用者カード、高低自在椅子 BC-20		

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



オプション(別売品)のご紹介

エクスプレッション・ペダル EP-1
¥2,400



ヘッドフォン HPE-160
¥5,500



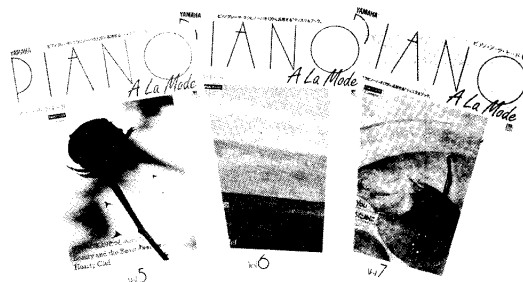
ディスク・オーケストラ・コレクション
オーケストラ音源をバックにピアノプレイが楽しめます。
(各巻 ¥3,000～¥5,000)



ピアノプレーヤ・ソフト
ピアノ・ソロ鑑賞用ソフトとしてお楽しみいただけます。
(アーティスト・シリーズ 各巻 ¥5,500 より)
(リスニング・シリーズ他、各巻 ¥4,000 より)



ピアノ・ア・ラ・モード
クラビノーバ、ピアノプレーヤ共用のアンサンブル・ソフトです。
(各巻 税込み価格 ¥1,854～¥1,869)



●表示の価格には、消費税は含まれていません。

索引

A

A-Bリピート	57～58
ABC(オート・ベース・コード)	39～43
ABC音量	43
AUX出力端子	84

B

BASSボリューム	43, 51, 85～87
BEAT	33

C

CHORD 1ボリューム	43, 51, 85～87
CHORD 2ボリューム	43, 51, 85～87
CHORD SEQUENCE	68～69
COPY	73

D

DEMO	12
DISK STYLE	44～45
D.O.C(ディスク・オーケストラ・コレクション)	4
DRUMS	18

E

ESEQ	92, 101
EXP.PEDAL端子	37

F

FF	51
FILL TO NORMAL	35, 36
FILL TO VARIATION	35, 36
FINGERED	41～42
FORMAT	61～62
FULL KEYBOARD	41～42

G

GM(General MIDI)	92, 101
GUIDE	53～54

I

INTRO/ENDING	34, 36
--------------	--------

L

LAMP CANCEL	50
LEFT PEDAL FUNCTION	21

M

MASTER VOLUME	17
METRONOME	38
MIDI IN	97
MIDI OUT	97
MIDI THRU	97
MIDI/TRANSPOSE	27, 85, 89, 98
MIDI(ミディ)	95～109
MIDIインブリメンテーション・チャート	109
MIDIクロック	99
MIDIケーブル	97
MIDI送受信チャンネル	98
MIDI端子	97
MIDIデータ・フォーマット	102～108

N

NORMAL	33
--------	----

O

OMNI ON(オムニ・オン)	98
-----------------	----

P

PAUSE	51
PHRASE REPEAT	55～58

R

REC	65
REVERB	19, 77
REW	51
RHYTHMボリューム	37, 43, 51, 85～87

S

SINGLE FINGER	41～42
SMF(Standard MIDI File)	85～88, 92, 101
SOLO STYLEPLAY	46～47
SONG NUMBER[▼][▲]	50
SONG SELECT	44, 50, 64
SPLIT	24～26
START/STOP	33, 50～58, 65～66
STYLE	32
SYNCHRO START	35

T

TAP	33
TEMPO[▼][▲]	32
TEMPOディスプレイ	32

V

VARIATION	33
VOICE13-60/[▼][▲]ボタン	16

ア

アカンパニメント・ボリューム	43, 85～87
----------------	-----------

イ

イジェクト・ボタン	60
イントロ	34

エ

エクスプレッション・ペダル	37
エンディング	36

オ

オート・ベース・コード(ABC)	39～43
応用機能(ユーティリティA/B)	85～91
オプション入力端子	84
音色	16, 112～113, 124
音色ナンバー	16, 112～113, 124
音色の推奨音域	112～113
音色/伴奏スタイル一覧表	124
音像定位(パン)	30
音程を合わせる(ピッチ・コントロール)	28～29
音程を変える(トランスポーズ)	27
音量調節	4, 17, 37, 43, 51
音量バランス(スプリット時)	25
音量バランス(デュアル時)	23

カ

ガイド	53～54
簡易調性判断機能	43, 85～88

キ

キー・カバー	4
キーボード・パーカッション	18
記憶残容量	65

ク

クオンタイズ	91
クラビノーバ共通音色変換	89~90
クラビノーバ共通音色マルチ・ティンバー・モード	99

ケ

鍵盤ごとのチューニング	85~87
鍵盤ごとのチューニング状態の保存／再現	89~91

コ

コード	39~40
コード・シーケンス	68~69
高音部	24~26
コピー	72~75
コントロール・チェンジ	98

サ

再生	66, 77~81
最大同時発音数	114

シ

自動伴奏	39~43
消去	76
初期値の変更	77
シングル・フィンガー	39, 41~42
シンクロ・スタート	35, 41~42, 85~87

ス

スタート／ストップ	33~36
スタイル	32
スタンダードMIDI(ミディ)ファイル	85~88, 92, 10
スプリット以下のオクターブ・アップ	26, 85~88
スプリット機能	24~26
スプリット送信モード	99
スプリット・ポイント	24

ソ

ソステヌート・ペダル	20
ソフト・ペダル	21
ソロ・スタイルプレイ	46~47
ソング	64

タ

多重録音	70~72
タッチ感度	85~86
タップ・テンポ	33
ダンパー・ペダル	20

テ

低音部	24~26
ディスク・オーケストラ・コレクション(D.O.C)	4
ディスク・スタイル	44~45, 75
ディスク挿入口	60
手弾きの音量	37, 43
デモ演奏	12
デュアル機能	22~23
電源	4
テンポ	32

ト

トラック	64, 70~72, 92
トランスポーズ	27, 100

ノ

ノーマル・タイプ	33
----------	----

ハ

パート	52~58, 92
パネル状態の保存／再現	89~90
パネル・データの送信	99
パフォーマンス・メモリー	63~81, 92
早送り(FF)	51
バリエーション・タイプ	33
パン機能	30
伴奏スタイル	31~47
パンチ・イン・レコーディング	78

ヒ

ビート・ランプ	33
ピアノプレーヤ・ソフト	50, 57, 62, 75, 92
ピッチ・コントロール	28~29
標準テンポ	32, 85~87
標準の音程	27, 29

フ

フィル・イン	35, 36
フィンガード	40~42
フォーマット(初期化)	61~62
譜面立て	5
フル・キーボード	40~42
フレーズ・ナンバー	56
フレーズ・リピート	55~56
プログラム・チェンジ	98
フロッピー・ディスク	59~62

ヘ

ペダル	20~21, 26
ヘッドフォン	5

ホ

ポーズ(PAUSE)	51
------------	----

マ

マイ・レパートリー	93
巻戻し(REW)	51
マスター・ボリューム	4, 17
マルチ・ティンバー・モード	99
マルチ・トラック録音	94

ミ

ミュート	19
ミュート機能	43, 85~88

メ

メトロノーム	38
--------	----

ユ

ユーズ・ランプ	60
---------	----

ラ

ライト・プロテクト・タブ	61
ランダム・リピート全曲再生	13, 50, 85~88

リ

リズム	32~37
リバーブ	19, 77

レ

レフト・ペダル	21, 34, 47, 52
---------	----------------

ロ

ローカル・コントロール・オフ	8
録音	64~72, 77~81

サービスと保証

サービスの依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1カ年で
す。

(日本国内のみ有効)

- 保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任を
もってサービスを実施いたします。尚、補修用性能
部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となってお
ります。また、保証期間中の修理などアフターサー
ビスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、
お近くのサービス拠点までお問い合わせください。

■ お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、お買い上げ店にご連絡ください。責任
を持って修理調整をいたします。

■ サービスのご依頼

サービスをご依頼いただくときは、お名前、ご住
所、電話番号などをハッキリお知らせください。ま
たお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番
号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器
の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万
一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなけれ
ばならないようなときに、お客さまにご連絡申し上
げます。)

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011(513)5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022(236)0249
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044(434)3100
東京サービスステーション (*修理品お持込み窓口)	〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03(5488)6625
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053(465)6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052(652)2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06(877)5262
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878(22)3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082(874)3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053(465)1158
北海道支店/営業課	〒064 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター TEL. 011(512)1550
仙台支店/営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル TEL. 022(222)6149
東京支店/鍵盤推進課	〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03(5488)5442
関東支店/営業推進課	〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03(5488)1680
名古屋支店/鍵盤推進課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052(201)5140
大阪支店/鍵盤推進課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館 TEL. 06(252)7541
広島支店/営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082(244)3748
九州支店/営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2152
電子楽器営業部 クラビノーバ営業課	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL. 053(460)3275

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

